

美術工芸学部（専門教育科目）カリキュラムマップ（令和7年度入学生用）

工芸専攻

大学の教育理念	沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。					
美術工芸学部の教育理念	大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者又は教育者などの人材を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的な視野を身につける教育を行います。					
大学のディプロマ・ポリシー	1-1. 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解している。	1-2. その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。	2. 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。		3. 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。	4. 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探索し、解決する能力を身につけている。
美術工芸学部のディプロマ・ポリシー	1. 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。	2. 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。		3. 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。	4. 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。	

年次	区分	授業科目名							
1	専攻共通	描写	◎	○	○	○			
		色彩	◎	○	○	○			
		立体構成	◎	○	○	○			
		工芸Ⅰ	◎	◎	○	○			
		2	工芸Ⅱ	◎	◎	○	○		
			立体造形（工）	◎	◎	○	○		
			版画	◎	◎	○	○		
		3	デザインと素材	◎	◎	○	○		
			古美術研究	○	◎	◎	○	○	
		2	陶芸分野	陶芸Ⅰ	◎	◎	○	○	
陶芸Ⅱ－Ⅰ	◎			◎	◎	◎	○	○	
陶芸Ⅱ－Ⅱ	◎			◎	◎	◎	○	○	
陶芸Ⅲ	○			◎	◎	◎	◎	◎	
窯業化学	◎			◎	○	◎	○		
陶芸特別演習	◎			◎	○	◎	○	◎	
3	染分野			染Ⅰ	◎	◎	○	○	
		染Ⅱ－Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		染Ⅱ－Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		染Ⅲ	○	◎	◎	◎	◎	◎	
2	織分野	織Ⅰ	◎	◎	○	○			
		織Ⅱ－Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		織Ⅱ－Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		織Ⅲ	○	◎	◎	◎	◎	◎	
2	染・織分野	繊維科学	◎	◎	○	◎	○		
		染色化学	◎	◎	○	○	○		
		染織特別演習	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
3	漆芸分野	漆芸Ⅰ	◎	◎	○	○			
		漆芸Ⅱ－Ⅰ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		漆芸Ⅱ－Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	○	
		漆芸Ⅲ	○	◎	◎	◎	◎	◎	
		漆芸科学	◎	◎	○	◎	◎		
		漆芸特別演習	◎	◎	○	◎	◎	○	
		1	専攻専門関連科目	絵画（工）	◎	○	○		
彫刻（工）	◎			○	○				
デザイン（工）	◎			○	○				
1 4	陶磁史			◎	◎	○		○	
	染織工芸史	◎	◎	○		○			
	生活造形論	◎	◎	○		◎			
	装飾論	◎	◎	○		○			
	漆芸論	◎	◎	○		○			
	色彩論	◎	◎	○		○			

美術工芸学部（専門教育科目）カリキュラムマップ（令和7年度入学生用）

工芸専攻

大学の教育理念	沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。					
美術工芸学部の教育理念	大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者又は教育者などの人材を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的な視野を身につける教育を行います。					
大学のディプロマ・ポリシー	1-1. 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解している。	1-2. その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。	2. 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。		3. 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。	4. 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探索し、解決する能力を身につけている。
美術工芸学部のディプロマ・ポリシー	1. 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。	2. 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。		3. 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。	4. 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。	

年次	区分	授業科目名							
1 5 4		美術解剖学Ⅰ(骨)	◎	◎	○		○		
		美術解剖学Ⅱ(筋)	◎	◎	○		○		
2~4		金属演習	◎		○		○		
1 5 4	選択科目	学部共通 共通専門関連科目	芸術心理学	○	◎	○		◎	
			芸術学	◎	◎	○		◎	
			絵画史	◎	◎	○		◎	
			彫刻史	◎	◎	○		◎	
			デザイン史	◎	◎	○		◎	
			工芸史	◎	◎	○		◎	
			書道史	◎	◎	○		◎	
			現代芸術論A	◎	◎	○		◎	
			現代芸術論B	◎	◎	○		◎	
			一般芸術学	◎	◎	○		◎	
			日本美術史	◎	◎	○		◎	
			東洋美術史	◎	◎	○		◎	
			西洋美術史A	◎	◎	○		◎	
			西洋美術史B	◎	◎	○		◎	
			西洋建築史	◎	◎	○		◎	
			日本建築史	◎	◎	○		◎	
			クラフトデザイン計画	◎	◎	○		◎	
			プロダクトデザイン論	◎	◎	○		◎	
			ビジュアルデザイン論	◎	◎	○		◎	
			視覚伝達論A(印刷)	◎	◎	○		◎	
視覚伝達論B(映像)	◎	◎	○		◎				
環境造形論	◎	◎	○		◎				
人間工学	◎	◎	◎		◎				
2~4		CG基礎	◎		○		○		
1 5 4		図法及び製図A	◎		○		○		
		図法及び製図B	◎		○		○		